

平成28年度 学校評価の4点セット

[1学期]

・統一感のある学校経営→全職員が同じ歩調で取り組む。意義・目的の共有(教職員・子ども・家庭)

学校名

国東市立安岐小学校

【学校の教育目標】 自ら学び 心豊かで たくましい安岐っ子の育成 ~ 自分から進んでする子どもの育成 ~

重点目標	担当	達成指標	分担	重点的取組	取組指標	徹底項目	取組状況の評価	達成状況の評価	改善点
							1学期	1学期	
主体的に考え・行動する子どもの育成(自分から進んでする子ども)	研究主任(古庄)	①単元テスト【1・2年】 国語・算数の単元テストで、それぞれ平均点85点以上。 【3～6年】 国語・算数・社会・理科の単元テストで、それぞれ平均点80点以上。 ※児童アンケートの回答について以下のことをめざす。(A・B回答とは「いつも・だいたいできています」) ②発表【1学期】 自分の考えを発表できる子ども70%以上。(A・B回答) 【2・3学期】 自分の意見と友だちの考えを比べて意見が言える子ども60%以上。(A・B回答)	学校	◎課題の解決に向けた、主体的・協動的授業に取り組む。 ～ユニバーサルな視点を大切にした授業の推進～	【担任・専科教員等】 ・ペア・グループ学習を1日1回以上取り入れる。 ・算・理を中心に、意見の違いを生む授業を、週2回以上仕組む。 【PJ・運営委員会・職員会議】 ・月末の児童アンケート(意識調査)の結果をもとに、プロジェクト会議・運営委員会でPDCAを繰り返す。	・安岐小スタンダードの徹底と互見授業の実施 ・授業観察カードによる交流 ・月末の児童アンケート結果の検証と改善策の策定	C	B	◎9月の校内研修で、1時間の授業の中で、いっぺんグループ学習を取り入れると効果的かについて出し合い、まとめたものを安岐小スタンダードに位置づける。 ◎国語・算数・理科、学級活動を中心として、意見の違いを生む話し合い活動を取り入れていく。 ◎校長等による授業観察カードをもとにした授業観察と指導。  ◎単元テストで、1・2年は85点、3～6年は80点に達していない子どもについては、チャレンジタイムの時間や放課後に個別指導を行う。
				◎習熟度に応じた指導を実施する。	・4年生以上の算数で習熟度別授業を実施する。(90%以上の時間で実施)	・単元テストのデータ集約と個別指導	A	◎どちらのコースを選んでも、同じ到達点(まとめ)に行けるように、毎時間、両コースの連携(ワークシート・板書等)を密にする。	
				◎宿題の提出率100%	・家庭と連携して、提出100%に取り組む。	・宿題の提出100%	B	◎100%提出可能な宿題の内容(①その日の復習問題、②過去に学習した内容、③自力で解ける問題)と量を工夫するとともに、家庭との連携を強化(連絡帳・電話等)し、未提出の子どもへの声かけと指導を行う。	
			◎「安岐小家庭学習の手引き」をもとに、「安岐っ子ががんばり表」を活用して、家庭学習の徹底を図る。	・毎月「安岐っ子ががんばり表」に、保護者が子どもへの励ましのコメントを書く。(毎月第2週目に実施)	・子どもへのコメント書き	B	C	◎「安岐っ子ががんばり表」のコメントの好事例等を学便りや学級通信等で紹介する。	
			◎学びの教室で、参加する子どもたちに補充学習をする。	・放課後学びの教室、年間35回実施。	・「学びの教室連絡ノート」での学習確認	B		◎校長が、老人会等に、学校公開日への参加を呼びかける。加えて、給食の試食会(11月)を行う。	
			◎学校公開日(毎月19日)に参加する。2学期、保護者以外の参加者目標30名。						
	生徒指導主任(角田)	児童アンケートの回答について以下のことをめざす。 ①「スリーマン活動(いじめゼロ・ワンストップあいさつ・無言掃除)」に対する肯定的回答 ※児童アンケートの回答について以下のことをめざす。(A・B回答とは「いつも・だいたいできています」) 【1学期】80% 【2学期】90% 【3学期】100%	学校	◎児童会活動と連携した「スリーマン活動」を実施する。 ※「スリーマン活動」とは、 ①ハローマン いつでもどこでも(学校・地域)だれにでも(地域の方にも)ワンストップ挨拶 ②ピースマン いじめや暴力をしない ③クリーンマン 無言掃除	①「スリーマン活動」の意義や取組内容の紹介を児童朝会等で年6回実施する。 【担任・専科教員等】 ・日々、「いつでもどこでもだれにでもワンストップ挨拶」「いじめゼロ」「無言掃除」を全職員で、日常的に指導する。 【PJ・運営委員会・職員会議】 ・月末、子どもの意識調査をグラフ化し、月初めの児童朝会で各担当から指導する。	・児童アンケートの毎月の実施 ・児童アンケートの毎月の実施とグラフ化、そして改善策の検討	B	B	①ワンストップあいさつ ◎全学級で、足をそろえて、おしぎをしながらあいさつをする練習をしたり、あいさつをした後の気持ちよさを話し合ったりする活動を、9月の第1週目に仕組む。 ◎全教職員が、率先垂範して、廊下では、必ずワンストップあいさつをし、できるまで必ず指導する。また、毎月第3週を強化週間として廊下や昇降口で重点的に指導する。  ②いじめゼロ ◎子どもの気になる言動があれば、その場で指導し、担任等に知らせる。 ◎子どもの様子を全職員で共有し、日常的に交流しあう。  ③むごん掃除 ◎掃除の仕方、手順等を一枚の紙にまとめ、各掃除場所に掲示して、取り組む。  ◎9月の第1週に、「むごん掃除の意義」について、各学級で話し合う。
				◎家庭でもあいさつ ・いつでも、どこでも、だれにでもワンストップあいさつ	・朝のあいさつ、「いってきます」「ただいま」「おやすみなさい」を各家庭で。 ・一日1回、家庭でわが子や孫をほめる。	学校便りで継続的に啓発する。	C		
				◎地域でもあいさつ ・いつでも、どこでも、だれにでもワンストップあいさつ	・いつでも、どこでも、だれにでもワンストップ挨拶」ができていたら、ほめる。	学校便りで継続的に啓発する。	C		
			家庭	◎ニコスポ(火・木・金の13:20～13:30)で全校で運動場を走らせる。 ※「ニコスポ」は、「ニコニコスポート」の略。	・1学期、全ての子どもが100周(20km)を達成するように、ニコスポを中心として各学級・全校で取り組む。 ・100周ごとに達成した子どもを表彰したり、掲示板で紹介したりする。 【担任・専科教員】 ・給食を自分で調整させ、学級全体で残量が減るように指導する。 ・自分で調整した後は、完食させる。 【PJ・運営委員会・職員会議】 ・月末、子どもの意識調査をグラフ化し、月初めの児童朝会で各担当から指導する。	・ニコスポの徹底・達成者の表彰	B	C	①運動場300周達成 ◎9月当初、全員が、300周に向けて、計画的に取り組むように、一日に走る目安を立てさせる。 ◎全校集会の場で担当が担任等が、一人ひとりの達成状況をもとに、定期的に表彰したり、紹介したりする。また、全体の達成状況等をグラフ化し、取組の意欲付けを図る。  ②給食の完食 ◎食を食べることの意義や栄養の話などを、9月中に各学級で行う。 ◎2学期に、栄養教諭を招聘し、食育について指導する。  ③自力登校 ◎歩いて登下校することの意義を、各学級で話し合う。 ◎学校便りやホームページ等で、自力登校の大切さを保護者に呼びかける。
				◎もぐもぐタイム(毎日)、安岐小べろりん賞(月1回)で、完食を推奨する。		・給食完食指導の徹底と取組のグラフ化	B	B	
				◎自力登校をさせる。 ◎朝ごはんを必ず食べさせてから登校させる。 ～早寝・早起き・朝ごはん～	・学期ごとの、「自力登校、朝ごはん」の取組結果から、わが子や孫のことを振り返り、できていなかったら改善に努める。	学校便りで継続的に啓発する。	C	B	
◎自力登校を見守る。スクールガード。	・自力登校ができていたら、ほめる。	学校便りで継続的に啓発する。	C	C					